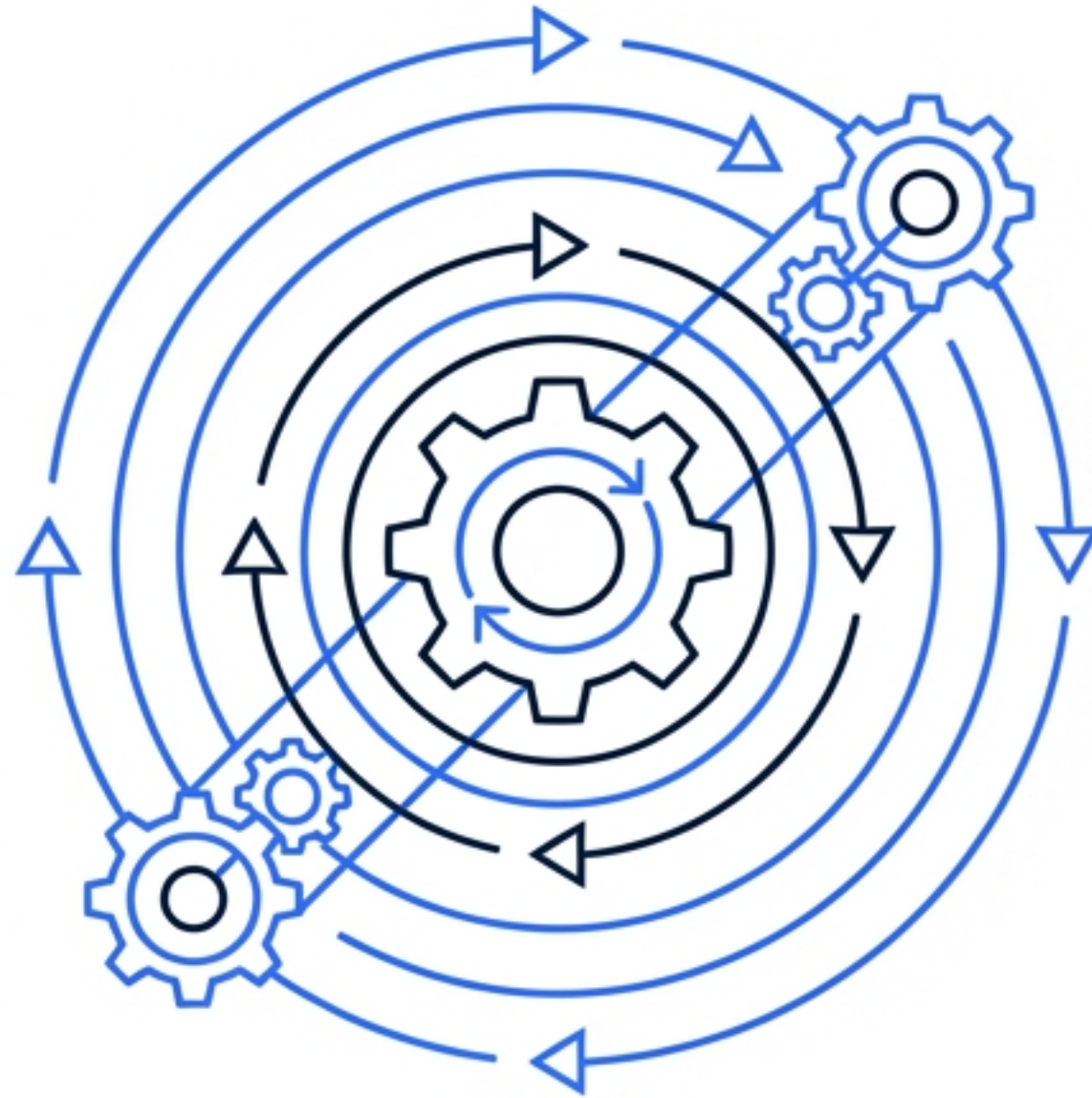


スイングトレードの「回転率」を最大化する技術

待つトレードから、淡々と回すトレードへ



「回転率を上げる」 = 「エントリー乱発」ではない

$$\text{回転率} = \text{エントリー回数} \times \text{回転速度}$$


多くの方は「回数」だけを増やそうとして、無謀なトレード（乱発）に陥る。
本質は「速度」との掛け算にある。



回転率が上がらない人に共通する4つの「無意識のブレーキ」



視野狭窄

見ている通貨ペアが
少なすぎる
(例：ドル円のみ)



手法の固執

エントリー条件が
1パターンしかない
(例：押し目買いのみ)



完璧主義

100点のチャートを
待ちすぎて実行率が低い



保有過多

1回のトレードを
引っ張りすぎる

通貨ペアを増やして「チャンスの母数」を確保する



ドルストレート
(Dollar Straight)

USD/JPY,
EUR/USD



クロス円
(Cross Yen)

EUR/JPY,
GBP/JPY



クロス通貨
(Cross Currencies)

EUR/GBP,
AUD/NZD

1つの試合だけを見るのではなく、複数のピッチを同時に監視してチャンスを待つ。

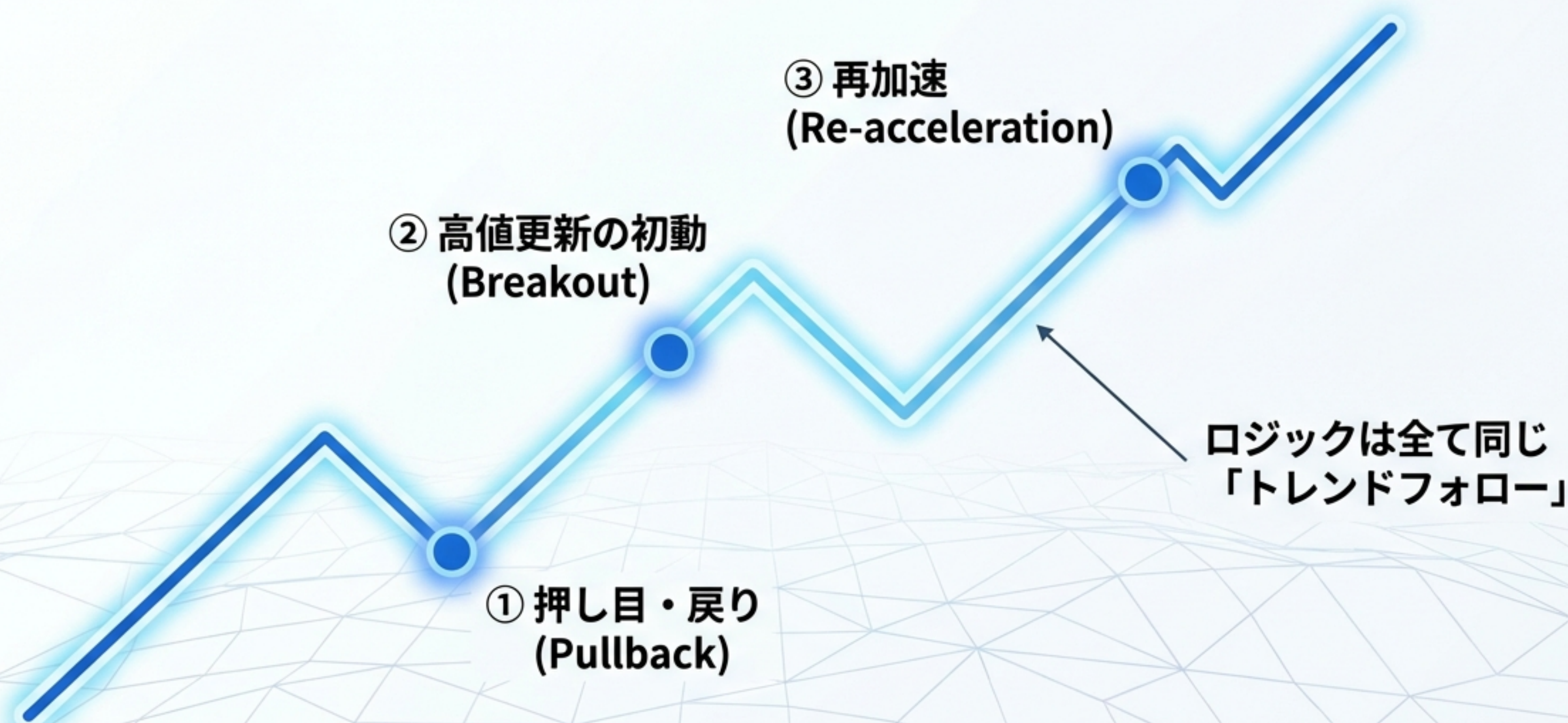


注意：相関の罠

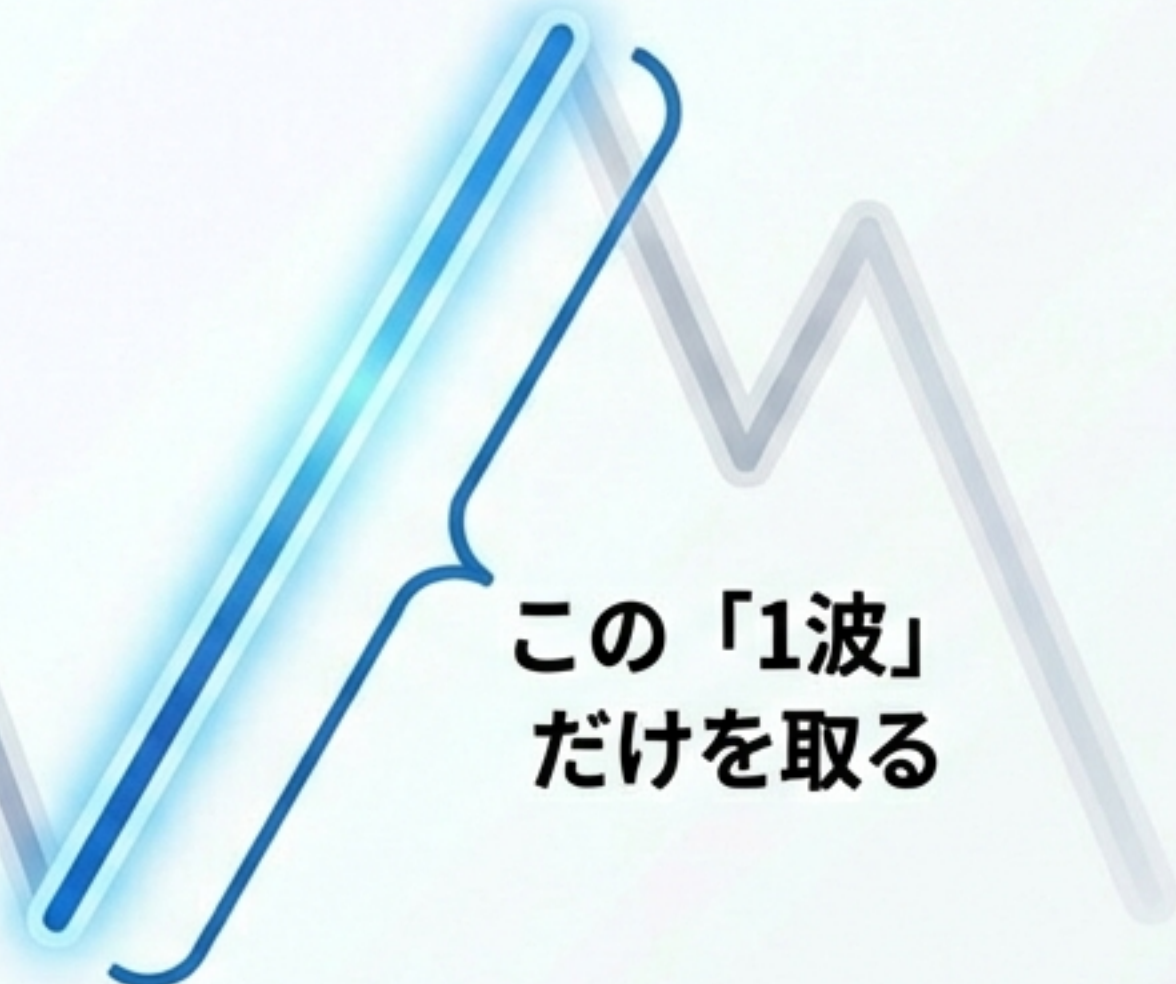
USD/JPY + EUR/USD + GBP/USD
を同時に見るのは、結局「ドル」
だけを見ているのと同じ。
バランス良い分散が必要。

手法は増やさない。「入り口」のバリエーションを増やす

環境認識は「トレンドフォロー」で固定。入るタイミング（ドア）だけを変える。



「1波」で完結させる勇気を持つ



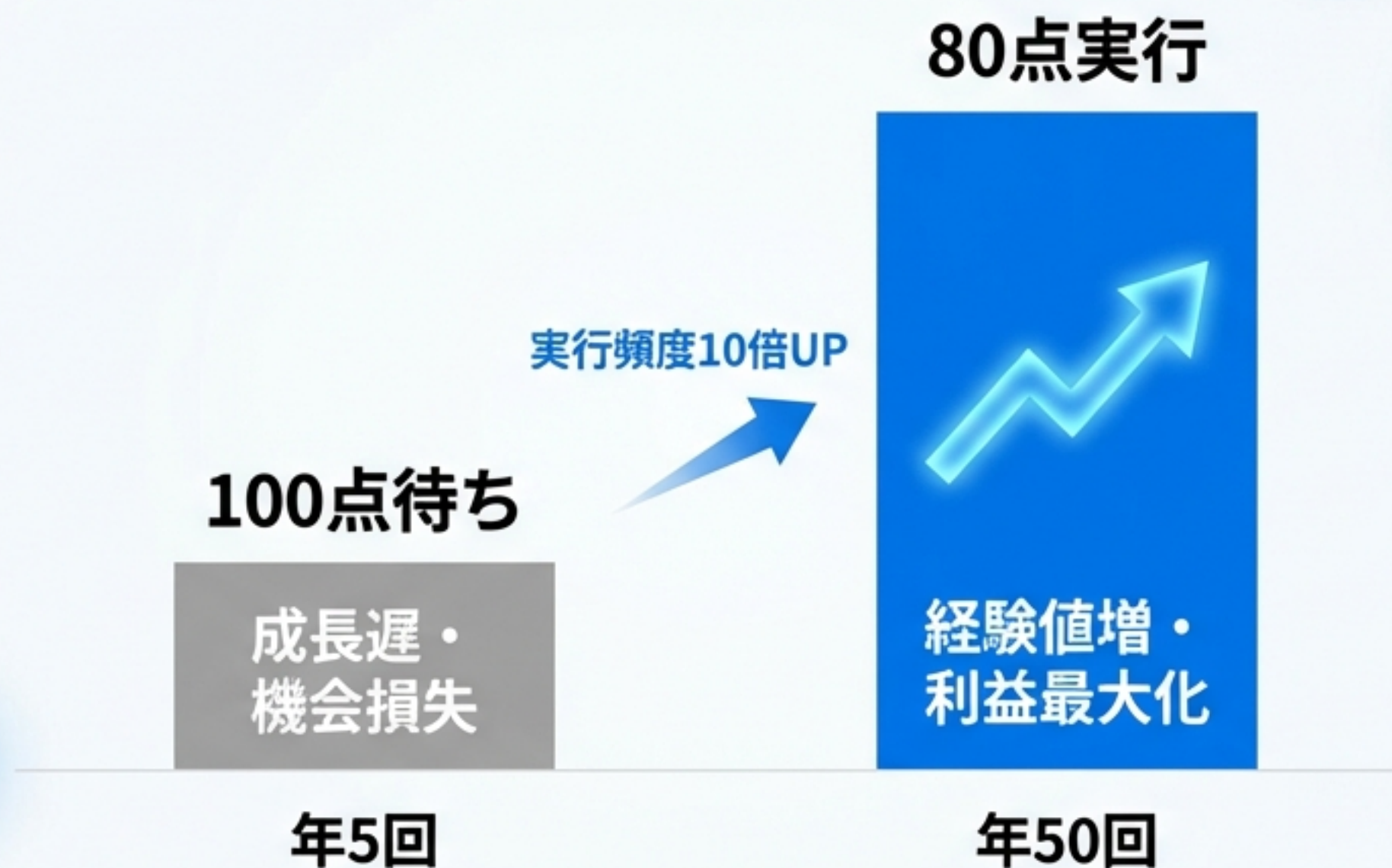
全トレンドを取ろうとしない。

4時間足・日足の構造1つ分で利益確定。

Actionable Rules:

- 利確（TP）を事前に決める
- トレール（Trailing Stop）ルールを決める

100点を待つな。「80点」で実行せよ



実行条件: 環境認識 OK + 方向性 OK + リスクリワード OK = 即実行

※ 100点のチャートも80点のチャートも、不確実な相場において勝率は差ない。

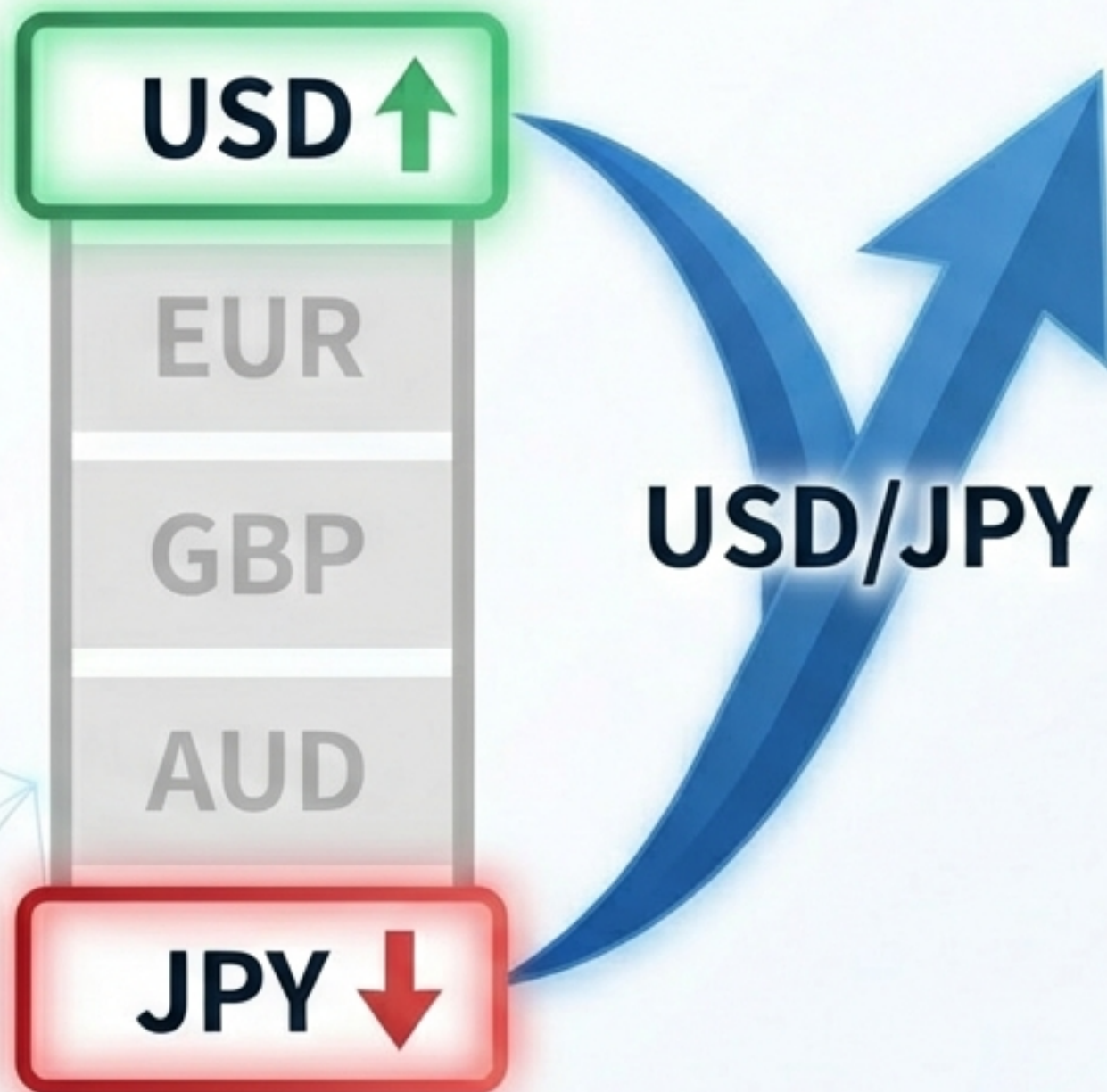
回転率を上げる「3ステップ・ワークフロー」



迷いを削ぎ落とし、機械的に実行するための設計図

【選定】チャートを見る前に「最強」と「最弱」を選ぶ

Currency Strength Meter



メリット:

- 方向感のないレンジ相場を自動的に除外。
- 監視対象を20ペアから3ペアに短縮。

【初動】 水平線ブレイクアウトで流れに乗る



基準：日足・4時間足の高値
安値、レンジ上限

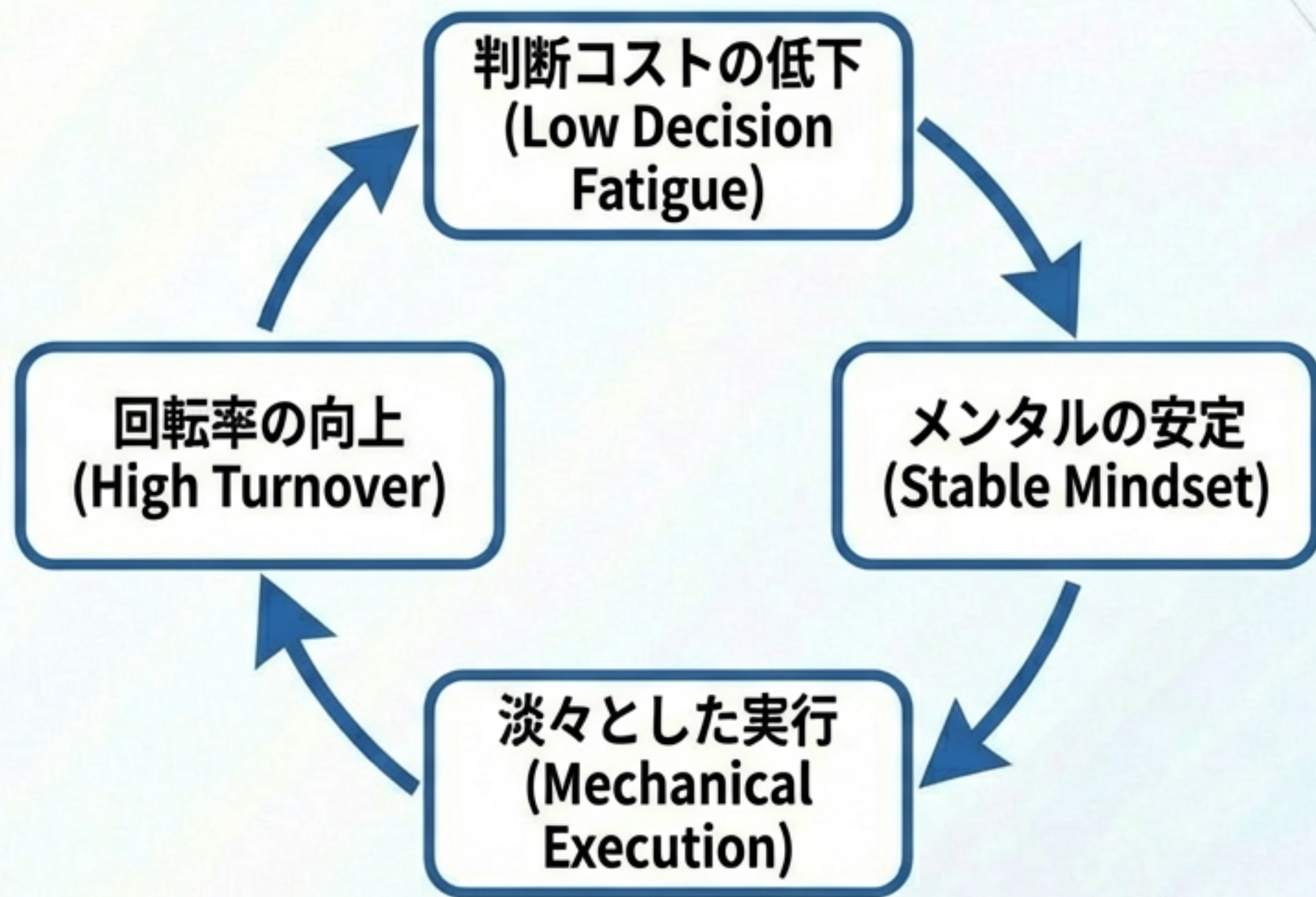
判定：抜けたか？ (YES/NO)
→ 迷いなし

【継続】トレンドライン・ブレイクで回転を作る



初動後の「調整」を狙う。トレンドラインの角度は急すぎず、緩すぎないものが理想。

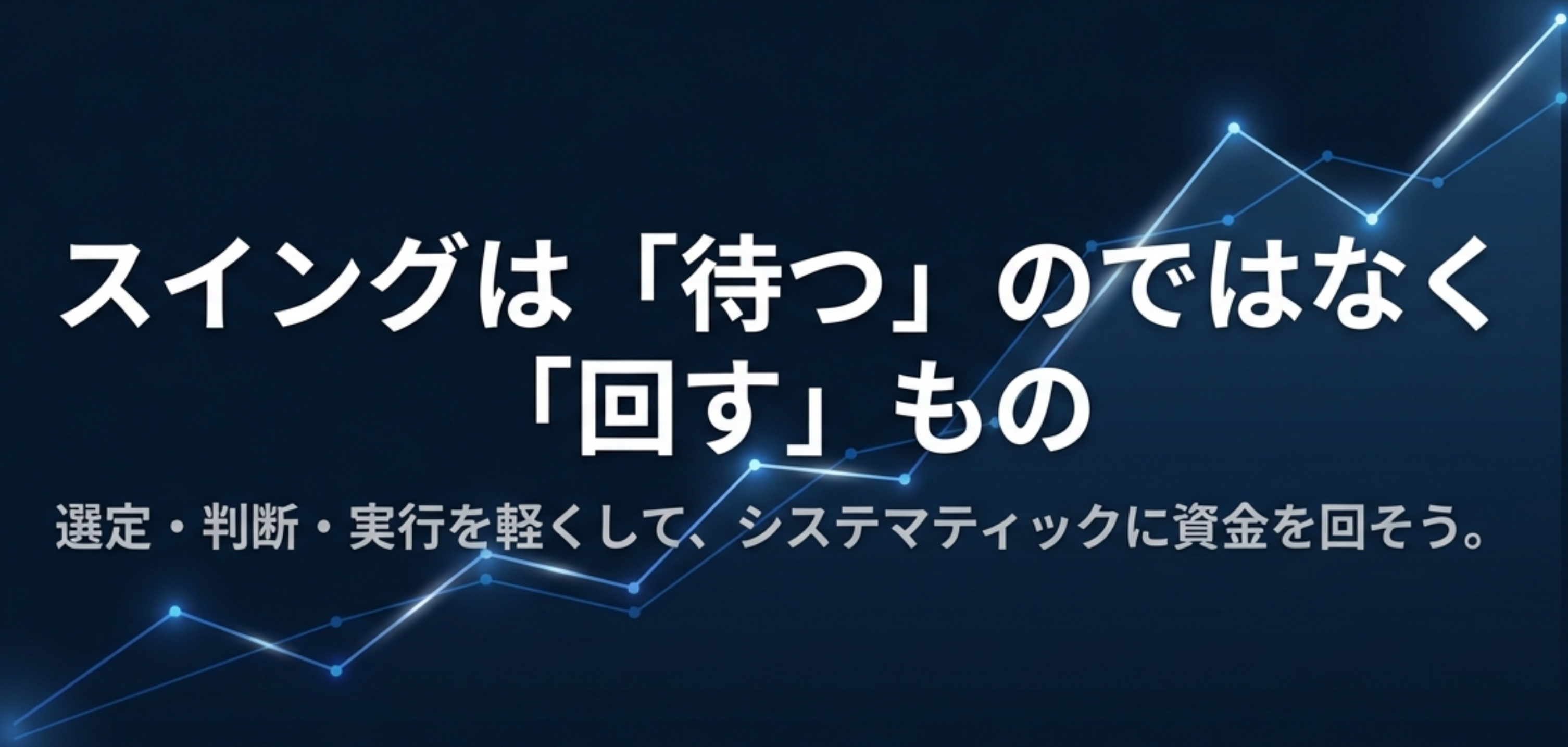
【設計】「迷い」を削ぎ落とす設計が、メンタルを安定させる



「トレードは、いかに淡々と実行できるかの勝負。」

今日のまとめ：スイングトレードの回転率向上リスト

- ☐ 監視：ドルスト・クロス円・他通貨をバランスよく見る
- ☐ 思考：100点を待たず、80点で実行する
- ☐ 選定：通貨強弱で「最強 vs 最弱」を選ぶ
- ☐ 初動：水平線ブレイクアウトで入る
- ☐ 継続：トレンドライン・ブレイクで追撃する
- ☐ 決済：「1波」で完結させ、資金を次に回す



スイングは「待つ」のではなく 「回す」もの

選定・判断・実行を軽くして、システムティックに資金を回そう。

焦らずコツコツ、一緒に成長していこうね！